東近江市のいいとこ・いいこと・いいひとを紹介する広報誌

にじまち

VO1.20
2018.03
発行

発行月：6月、9月、12月、3月
発行数：1500部

地域で広がるダンスの輪

Dan's Studio BANのみなさん

地域のイベントなどで、ダンスを見かけることが多くなってきたように感じます。ストリートダンスやフラダンス、社交ダンスなど、一言でダンスといっても様々なジャンルがありますが、みなさんいきいきと楽しんで踊っておられる姿を見ていると、こちらも元気になりますね。

東近江市でも、毎年3月に布引体育館で「布引ダンスフェスティバル」が開かれ、市内外から約70チームが出場されています。そこで今回は、地域で広がるダンスの輪というテーマで、ダンスに関わっておられる方々にお話を伺いました。

東近江市で20年以上にわたってダンスを教えておられる伴綾子さんにお話を伺いました。大人になってから始めたダンスですが、踊るうちに「自分のダンスをやりたい」という思いが膨らみ自宅の一室で「Dan's Studio BAN（ダンズ スタジオ バン）」を始められたのがダンス教室のスタートでした。

当時は10人ほどだった生徒さんも次第に増え、現在では八日市と蒲生の教室で5歳から50歳くらいまでの方がダンスを習っておられます。スタジオに

↑元気いっぱいにダンスをおどる生徒のみなさん

通う生徒さんの多くは小学生から中学生の子ども達です。ダンスを習った事が子ども達一人ひとりの自信になっていて欲しい。伴さん自身がダンスに出会ったことで自分自身が変わり、今の自分があるとの思いから、ダンスを習いにくる子ども達には特別にそんな願いも込めてダンスを教えておられます。

市内外で年間約30近いイベントに呼ばれる伴さんのダンスチーム。依頼を受けたときには、依頼先のリクエストやイベントの雰囲気にあわせて出演するチームを決め、観客に喜んでもらえるパフォーマンスを目指しておられます。

↑伴　綾子さん

また、Dan's Studio BANは一昨年から東近江市のサッカークラブMIOびわこ滋賀の専属ダンスチームとしても活躍されています。布引グラウンドでのホーム試合では、ハーフタイムのダンスパフォーマンスで会場を盛り上げています。昨年は、チームのみんなでフラッシュモブにも挑戦されたそうで、「練習は大変だったけれど、とても面白いことができた。」とおっしゃっていました。専属ダンスチームとしての今後の活動もますます楽しみです。

「子どもから『学校の文化祭でダンス踊ってて！』と聞くと嬉しくなります。これからも子ども達には楽しくダンスを踊っていて欲しい。」と語る伴さん。ダンスを踊る皆さんがこれからも楽しく輝いてほしいと思いました。

ダンス以外にも、伴さんは、お年寄りを対象とした健康体操の先生としても活躍されています。そのため、生徒さんの中には、おばあちゃんは健康体操、お孫さんはダンス教室で伴さんと関わっておられる方もいらっしゃるそうです。「子どもも大人も体を動かしている人は元気やね。生き生きして見える。」伴さんの言葉からは、体を動かすことはただ単に運動不足の解消や体力づくりのためだけでなく、自分を輝かせるパワーや活力もつくってくれるのだと感じました。

音楽やリズムに合わせて体を動かすことは、子どもから大人まですべての世代に共通する元気のキーワードなのかもしれませんね。

〈問合せ〉
連絡先：伴　綾子（Dan's Studio BAN）
TEL/FAX:0748-23-1174
ホームページ：dansstudioban.com

地域で広がるダンスの輪

VOICES

おとなもこどもも、ダンスの楽しみ方は十人十色。
サークルの仲間や友達とダンスを楽しむ方々にその魅力を教えて頂きました！

滋賀レイクスターズ チアスクールジュニアクラス　東近江校のみなさん

妹が先に入っていたので、お母さんから誘われて入った。パフォーマンスが経験できるので楽しい。緊張するときとしないときとあるけど楽しい。

笑顔で踊るので、みんなを笑顔にできるのが楽しい。おじいちゃんやおばあちゃんもたまに見に来てくれる。

最初は難しかったけど、だんだんできるようになってきた。振り付けを覚えるのが大変だけど踊るのは楽しい！

わざができるようになってうれしいし、笑顔で踊るとお客さんも笑顔になるのがうれしい！

講師のカナコ先生からお聞きしました。

この教室では、5年前からキッズ(小2以下)とジュニア(小3～中学)を教えています。チアではダンスだけでなく礼儀も大切だと教えています。ダンスを通じて、子どもたちに自信を持ってもらいたいです。学校でもダンスの授業が始まったりしているので、子ども達が明るく、積極的になったと聞くとうれしいですね。

築山 清美さん （フラダンス歴３年）

フラダンスを始めたのは見学に誘われて行ったのがきっかけです。２０代はエアロビックス、３０代は子育て、４０代からフラダンスをはじめました。みんなで踊るのが、元々好きだったんだと思います。でも目が見えないので、先輩が手や足をもって教えてくれています。足の動きはフラダンスの言葉で決った型があるので、手は触って振りを教えてもらってます。

私は学校で子ども達に「やりたいことはなんでもやれるよ」「好きなことは続けたらいいよ」を伝えるために講演活動をしています。そのときに目の見えない私でもこうやってフラダンスができるという事を伝えるために、踊ったりしています。

月３回の練習日で、夜のクラスなので、仕事が終わってから参加しています。文化祭や発表会では新曲を教えてもらい、これまで２２曲くらい教わりました。他の曜日のクラスは、２１歳から最高齢は８４歳とバラエティーに富んだメンバーが踊っています。慰問に行って、行く先々で喜んでもらっています。一人ではなく、みんなで踊るから楽しいのだと思います。

information

布引ダンスフェスティバル

日時：2018年3月11日（日）　9：00～16：00
場所：布引運動公園体育館　大アリーナ

地域で活動するダンスチームが気軽に発表できる場を作ろうと誕生したダンスフェスティバルです。今では市外からもたくさんのダンスチームが集まります。ダンスの魅力がたくさんつまった1日です！

ステージダンス Dan's Studio Ban 第 24 回発表会

日時：2018年6月17日（日）　13：00～
場所：東近江市立八日市文化芸術会館

ストリートダンスを中心に、子ども達が踊るかっこいいダンスパフォーマンスを是非ご覧ください！

コラボ

第26号

東近江市では、協働によるまちづくりの指針となる条例及び計画をより実効性のあるものにし、総合的・計画的に推進するためのしくみや制度を検討するために、東近江市市民協働推進委員会を設置しています。

発行：東近江市市民協働推進委員会

みなさんは、「ラウンドテーブル」をご存じでしょうか。1つのテーマについて、出席者が上下関係を問わず、フラットな場で情報を出し合い共有することを目的とした会議です。

東近江市では、この会議を「まちのわ会議」と名づけ、毎回地域の困りごとをテーマに、話合いをする中で現状を知り、課題を整理し、解決に向けたヒントを参加者で探る場としています。

今回は、昨年の11月20日に、湖東地区のみすまの館で開催されたまちのわ会議の様子を報告します。

まちのわ会議今回のテーマ

「まちづくり協議会の多様な担い手をつくる」

まず、湖東地区まちづくり協議会副会長の福田純子さんから、「委員は減少傾向、平均年齢は右肩あがり。今、組織を支えているのは設立当初メンバーが中心。会員になっても短期でやめる人も多い。」など、困っている現状の話題提供がありました。

続いて、他のまち協や市民活動団体、企業から、担い手づくりで取り組んでいること、悩んでいることなどについて話をしてもらいました。

「まち協の活動に興味を持ってもらうように、いろいろな人に話をしたり、巻き込んでいる。」、「地域には、多様な能力を持っている人がいるので、絶えずアンテナを張って声掛けをしている。」、「いろいろな人に役割を持ってもらう、また、任せることが、継承には大切。」、「人口が減少していく中で、人材育成をしっかりやっている。」

企業や団体にとって、社員やメンバーなどの担い手は宝であり、最も大切なものです。お話を聞く中で、どの団体も担い手づくりに頭を悩ませながらも、力を入れておられる様子がよくわかりました。

しかし、「担い手になってほしい。」という思いだけでは、人に来てもらうことはできません。「これをやって、こんなまちにしたい。」という理念や目的をしっかり示すことが大切。との話もあり、会議は閉じられました。

↑「まちのわ会議」の様子

今回のテーマは、多くの団体が困っている課題であったと思います。会議の着席者や傍聴された多くの方にとって、明日からの取組に向け、たくさんのヒントを得る場になったと思います。

Corabook こらぼコレクションin ひがしおうみ

「よそもの」のおかげで気づく地域の良さ

～五個荘川並町自治会～

少子高齢化や役員の担い手不足に困っている自治会も多いのではないでしょうか。そんな中、これからの自治会をどうしていこうかと、地域のみなさんが市や大学と一緒に取り組んだ五個荘川並町自治会を紹介します。

きっかけは自治会の総会でした。「毎年行っている春祭り、お稚児さんをしてくれる子どもを探すのも大変、神輿の担ぎ手や参加者も少なくなってきている。自治会としてどうするのか。」という声。若者が減り、行事だけでなく自治会の運営も厳しい状況。そこで、これからもずっと住み続けられるようなまちにするにはどうすればいいか、自治会の老若男女さまざまな人に集まってもらい、考える会を発足されました。話し合いをする中で、市のまちづくり協働課に相談され、「住み続けたい地域づくり事業」という補助金制度と滋賀県立大学でまちづくりを専門にされている先生を紹介してもらいました。

「自治会内だけでは同じ考えの堂々巡りで、どうしていけばいいか分からなかった。」会を発足された塚本喜久蔵さんは言われます。大学の先生に入ってもらい、大学生と川並町のまち歩きを行いました。ずっと住んでいると、地元の良いところはなかなか分からないもの。学生と一緒に地元を歩きながら話すことで、当たり前だと思っていた地域の良さや素晴らしい魅力に気づくことができたそうです。その後、まち歩きで気づいた「未来に継承したい川並町の大切なもの」をビジョンとしてまとめ、課題を検討する委員会を立ち上げられました。

1　学生とまち歩き
2　川並自治会の方々
3　地域診断の様子

現自治会長の塚本善次さんは、「みんな何か変えなあかんと思いながら、どうしていいか分からない。市や大学生の力ももらって新たに取り組んだことで、変えていこうという意識につながったし、この動きをぜひ継続していきたい。」と話してくださいました。

自治会は、まちづくりの基本となる地域の組織です。様々な課題を抱えながらも、自分達の暮らしのセーフティネットでもあります。五個荘川並町自治会のように、市や大学とつながり新しい視点が入ることで、新しいヒントが得られるかもしれま

彩 ~color~

ここでしかデキないこと

木のねっこ

今回の「彩」は、子育て中のお母さんと子ども達が集う場づくりに取り組む「木のねっこ」です。中心メンバーである奥川さんと高田さんが、外で遊ぶ機会を子ども達にという思いから平成24年に始められ、今年で6年目になります。活動のフィールドは、里山や川で、ここ数年は河辺いきものの森での活動が主になっています。里山を散策すると、子どもだけでなく大人も、自然の面白さや発見をし、楽しみながら学べることがいいそうです。

森の中を元気に遊ぶ子ども達。どんどん先へ先へ向かう子、途中でころんでしまう子、遊ぶことよりお弁当が楽しみな子、いろいろな子どもがいます。子どもにも一人ひとりに思いがあり、その思いを大切にできるよう、子ども達のペースに合わせて活動を進めておられます。奥川さんは、「木のねっこだからこそできることがたくさんある。」と言われます。「泥だらけになったり池にはまっても木のねっこなら笑って許せるし、寒い日の森も仲間がいれば遊びが尽きず、親子2人で家にいるより半日楽しく有意義な時間を過ごすことができる。」木のねっこの活動は、子どもだけでなくお母さん自身の憩いの場所にもなっています。

←↑取材の日は、雪がまだ少し残る寒い日でしたが、子ども達は元気いっぱい森の中を走っていました。

「子どもの成長のこと、学校や幼稚園のこと、地域のことなど悩みはたくさん。でも、その悩みを話せるのがここのよいところ。地域のことは近所の人には話しづらい。地域が違うから話すことができる。集まる場があることで、子育てのことだけでなく、くらしの中の悩みも話ができる。」とのこと。

「将来、夢があるんです。子ども達が大きくなったら大人たけのキャンプをしたい。」子ども達だけでなく、お母さんも大切な人と出会うことができる場。木のねっこの活動が親子の元気を支えています。

夏には、1泊2日のキャンプを開催。川で遊んだり、みんなで一緒に寝たり、愛郷の森で1日を満喫されます。今年は、70人以上の参加者があり、普段は違う幼稚園や小学校に通う子ども達が参加するので、久しぶりの再会に、同窓会のような盛り上がりになるそうです。

問合せ
木のねっこ
詳しい活動の様子については、facebook「木のねっこ」から検索下さい。

ちょこっとタクシーで行く！ちょこっといいところ

今回は、ちょこっとタクシー蒲生エリアの「長峰エリア」と「西エリア」を巡ってきました。長峰団地は蒲生地区にある大規模な新興住宅地で色々な家が建っています。八坂神社にも足を運んでみました

蒲生エリア（がもうエリア）

スポット1　八坂神社

バス停宮川から5分ほど歩いたところに八坂神社があります。京都祇園と深い関係があり、今も著名人が訪れる場所だそうです。あの京都の祇園さんとつながりがあったなんて面白いですね。

5月3日に宮川町等で行われる「ケンケト祭り」は国の無形民俗文化財としても有名です。一度訪ねてみて下さいね。

アクセス　東近江市宮川町４４

スポット2　散歩道＆氏神の落神社

長峰北区つどいの広場前の坂道を下った所から山道に入ると、家々が続く長峰団地から急に別世界に入った様な自然豊かな散歩道に。鳥がさえずり大木を仰げば、その向こうに青空が見えます。途中の高い階段を上ると弘法大師が祭られた落神社がありました。

アクセス　東近江市蒲生堂町

長峰診療所

新しく建て替えられた長峰診療所です。急な発熱やしんどくなったりした時にとても心強いですね。蒲生医療センターから火、水曜日の午後、金曜日の午前に先生が来られています。（診療時間、診療科はお問い合わせください。）
長峰診療所　0748-45-2175

スポット3

アクセス　東近江市宮川町 244-921

↑カラーコーンが宙に舞ったり回転したり、自由自在に操ります。

↓空中で色んなものを投げたり取ったりするジャグリング。火がついたり、光ったりもします。

東近江人
第18回
丸ちぇろさん

東近江市にサーカスをつくりたい！

今回は、東近江市を拠点に大道芸人として活動されている「丸ちぇろ」さんをご紹介します。

大道芸との出会いは高校時代、虎姫で毎年開催されている大道芸フェスタというイベントでした。そこで繰り広げられるプロの大道芸に魅了され、お手玉とマニュアル本を早速購入し練習を開始。大学時代には大道芸サークルに入り練習と活動を続けられました。卒業後は、一般の企業に就職されたものの、大道芸人として働きたいという夢が次第にふくらみ、10年前に「丸ちぇろ」として活動をスタートされました。

「丸ちぇろ」という名前の由来は、イタリアの映画俳優マルチェロ・マストロヤンニから。好きな上に、誕生日が一緒だったことから名前をいただいたとのこと。

地元の子ども会や敬老会、会社のイベントやお祭りなど様々な場所で活躍されています。

夢は広がり、平成28年には、東近江市にサーカスを作りたいと「ロケットサーカス」を設立。県外のメンバーも集め、6月に第1回ロケットサーカスを開催。満員の会場は大いに盛り上がり大成功の公演となりました。

東近江市では、大阪や名古屋ほど大道芸の認知度がなく、お客さんの反応もまちまち。その時の雰囲気に合わせパフォーマンスやトークの内容を変える工夫で、子どもから大人気。ファンレターをもらうこともあるとか。地元の人に大道芸を身近に感じてもらいたいと、ジャグリングやバルーンアートの講座などを開催し、東近江市に新しい文化を創るという熱意をもっておられます。

サーカスの魅力はなんといっても、間近でパフォーマンスに触れられ、臨場感やエネルギーをダイレクトに身体で感じられることだとおっしゃいます。動画や写真では無く、ぜひ会場で体感してみてください。

お知らせ

ロケットサーカス
～第2回公演～
STARDUST
2018年3月21日

公演情報は13ページをご覧下さい

YoutubeやTwitterなど情報発信もたくさんされています。
「ロケットサーカス」で検索してチェックしてみて下さい。

お問い合せ先　TEL：070-5500-3413　MAIL：roket@tb.skr.jp

マチコト ～地域をハッピーにするしごと～ 第18回

タクシーで地域の子育て応援します

近江タクシー湖東営業所

「子育てタクシー」をご存じですか？子どもや保護者、妊婦さんを対象に移動のサポートをするタクシーのことです。今回は、東近江圏域を拠点に子育てタクシーを運営される近江タクシー湖東営業所をご紹介します。

育児をしながら働くお母さんが増える中、子育て世代の悩みは様々。『移動』も大きな悩みの一つです。近江タクシーでは、タクシーという手段で、地域の助け合いのしくみに関わっていきたいとの思から、この取組を始められました。

実際に子育てタクシーを始めると、子育て中のお母さんだけでなく保育園や学童、子育てサークルといった所からも問合せがきたそうです。そんな出会いやつながりは、企業側にとっても新たな視点や発見のきっかけとなっています。

子育てタクシーのドライバー中村さんは、「利用されるお客様からは親しんでもらっています。生後間もないお子さんを何度か担当したときは、会う度に大きくなっていて、その姿がとても嬉しかった」と話されます。ドライバーの皆さんは真心込めてお子さんや保護者をサポートされています。

利用の仕方は人それぞれ。今後もいろいろな声に応え、地域の皆さんに気軽にタクシーを利用してもらいたいとの思いを込めて、これからも活動を広げていかれます。

↑子育てタクシーの様子

子育てタクシーの目印と
ドライバー証明書→

子育てタクシーQ&A

①利用するにはどうすればいいの？

・子育てタクシーの利用登録（無料）をします。
・実際に利用する際は「子育てタクシー希望」と一言。

②頻繁に使うわけではないけれど。

・すぐに利用する予定がなくても登録することができます。

③利用料金

・通常のタクシー料金と同じです。

④その他

・お子さまのみ（4歳以上）や妊婦さんの利用も可能です。

詳しくは近江タクシーのHPをご覧下さい。

〈問合せ〉近江タクシー株式会社湖東営業所
近江八幡市上田町84-3（東近江・近江八幡地区）
TEL：0748-37-0106　FAX：0748-37-2019　HP：http://www.ohmitetudo.co.jp/taxi

市民投稿番組

市民投稿番組コーナー「まちのわ」

●「まちのわ」の投稿作品を募集しています！！

東近江スマイルネットで自分が作った動画を流してみませんか。イベントや趣味の動画など、いろんな映像をお待ちしています。

放送は、毎月第１週目の月曜日～日曜日の19：45～20：00※です。

※放送時期は、都合により変更になる場合があります。

●これまでの放送内容

1月

タイトル：東近江市に サーカスが生まれました

丸ちぇろ（ロケットサーカス）

東近江市の大道芸人 丸ちぇろさんがサーカスを立ち上げられました。映像にはハラハラどきどきのパフォーマンスの様子もご覧いただけます！夢は大きく「世界一！」

2月

タイトル：まちのわコンテスト エントリー動画ダイジェスト版

NPO法人まちづくりネット東近江

今年度、市民投稿番組「まちのわ」に投稿された動画を集めたダイジェスト版です。2/16からは動画の市民投票も行っています。

●お知らせ

まちのわコンテスト市民投票

市民投稿番組「まちのわ」に投稿された映像の中から素敵な作品を表彰する「まちのわコンテスト」。このコンテストの市民投票を受け付けています。素敵だなと思う作品にぜひ投票してください。投票の結果は「まちのわコンテスト表彰式」にて発表します。

投票期間：2018年2月16日（金）～3月9日（金）

投票場所：東近江市八日市文化芸術会館

まちづくりネット東近江のHPからの投票も受付けています。
まちづくりネット東近江HPへはこちらから→

まちのわコンテスト表彰式

2018年
日時：3月19日（月）
16：00～16：30

場所：中野ヴィレッジハウス

9つのエントリー作品の中から きらりと光る作品を表彰します！

動画の制作に関することや、投稿の仕方などお気軽にお問い合せください。

問合せ：東近江市パブリックアクセス推進協議会
事務局：ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
ＴＥＬ　0748-56-1277　ＭＡＩＬ：info@e-ohminet.com

地域の情報かわら版

女性のための 森ですごす素敵時間！

桜模様のハンカチに草木染めをしよう!

日時：2018年3月28日（水）10：00～15：00（昼食つき）

費用：3,000円（参加費・材料費込み）

定員：12名　　場所：河辺いきものの森

持ち物：帽子、水筒、作品持ち帰り袋

森を散策した後、森の木を使って草木染めをします。
素朴で優しい風合いに仕上がります。
森の中でのランチもお楽しみに！

↑桜模様のハンカチ

申し込み・お問合せ
NPO法人 里山保全活動団体 遊林会
東近江市建部北町531　（河辺いきものの森ネイチャーセンター内）
TEL：0748-20-5211

ロケットサーカス第2回公演 STARDUST

日時：2018年3月21日（水・祝）
14：00～（開場：13：30～）

場所：八日市文化芸術会館展示室

前売り入場券　大人：1,500円
中学生以下：1,000円
（当日各500円増し、3才以下無料）

チケットは八日市文化芸術会館窓口又は、ロケットサーカスHPまでお問い合わせください。
https://eotoybox.wixsite.com/roket

東近江市に誕生したサーカス！
素晴らしいパフォーマー達の
大道芸をぜひご覧ください！

おしゃれな服の交換会xchange

日時：2018年4月21日（土）
11：00～14：00

場所：ファブリカ村　（JR能登川駅徒歩15分）

参加費：200円

お問合せ：090−1245−1021（柳澤）

自分ではもう着ないけれど、誰かに着てもらえたらうれしい！おしゃれ服の交換会です。

びわこジャズ東近江

日時：2018年4月29日（日）
30日（月・祝）

場所：東近江市役所～八日市駅周辺

今年は10周年！
東近江市が音楽にあふれる2日間です。

ヘムスロイドの杜まつり2018

日時：2018年5月19日（土）・20日（日）　10：00～16：00

場所：ことうヘムスロイド村　野外広場全域

作家さんたちの手作りの品々が並ぶおまつりです。

地域のお知らせ「にじまち」に掲載しませんか？

地域の情報を掲載させていただきます。お気軽にお問い合せください。

申込み・問合せ：ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
TEL：0748-56-1277　MAIL：info@e-ohminet.com

募集中

information
～お知らせ～

共に考え・共に創る「わがまち協働大賞」

大賞

東近江市の花「紫草」を活用した地域活性化プロジェクト

東近江ムラサキ紫縁プロジェクト

地域の課題に対していろいろな団体が協働し、課題解決に取り組む事例を、東近江市市民協働推進委員会が「わがまち協働大賞」として表彰しました。

今年度は 21 事例の応募があり、その中から 10 事例が表彰されました。

大賞には『東近江市の花「紫草」を活用した地域活性化プロジェクト』が選ばれました。

受賞団体一覧

最優秀賞

東近江市の花「紫草」を活用した地域活性化プロジェクト
東近江ムラサキ紫縁プロジェクト

優秀賞

プレイヤーズファースト～新しい部活のカタチ～
湖東バスケ男子

新しい地域づくりのための共創の場づくり
中野ヴィレッジハウス

特別賞

図書館とのコラボによる地域の居場所づくり
東近江市福祉総合支援課

赤い羽根募金　募金百貨店プロジェクト
東近江市社会福祉協議会

広報事業部 ホップ♪ステップ♪のとがわ
一社）能登川地区まちづくり協議会

エピソード賞

後世に伝えよう！伊庭の魅力再確認プロジェクト
水辺の里伊庭を考える会

市民応援賞

愛知川の生態系の保全　愛知川清流会

協働コーディネーター賞

前川　真司さん　東近江ムラサキ紫縁プロジェクト
今井　陸之助さん　一社）能登川地区まちづくり協議会

入賞

びわ湖 東近江SEA TO SUMMIT　2017
東近江SEA TO SUMMIT実行委員会

里山づくりと里まつり
建部地区まちづくり協議会

愛知川の生態系の保全
愛知川清流会

後世に伝えよう！伊庭の魅力再確認プロジェクト
水辺の里伊庭を考える会

中学生が選ぶ協働大賞

聖徳中学校　全年齢対象（大賞）
新しい地域づくりのための共創の場づくり

能登川中学校　おしゃれまちおこし賞
新しい地域づくりのための共創の場づくり

湖東中学校　東近江市ならではの魅力賞
東近江市の花「紫草」を活用した地域活性化プロジェクト

受賞者のみなさまおめでとうございます！

information
～お知らせ～

みなさまの応援

ありがとうございました！

にじまちサポーターズ

「にじまちサポーターズ」は、東近江市の地域課題を解決する団体を、資金で応援するための仕組みです。今年度も多くの皆様のご寄付をいただきました。頂いた寄付は 2 団体のプロジェクトの資金として活用いたします。応援いただきました皆様ありがとうございました。

寄付総額

710,737 円（2 月 19 日現在）

プロジェクト 1

織田信長が愛した幻の銘酒「百済寺樽」444 年前の歴史を紐解く

百済寺の歴史とロマンを伝えたい　百済寺樽歴史研究会

●集まった寄付でこんな活動をします！

1「百済寺樽」の歴史の調査、分析をします。
2 幻の銘酒「百済寺樽」の歴史やロマンを多くの人に伝えます。

●今年度の取り組み

寄付集めをしながら、さまざまな文献を調べたり各地で PR 活動に取り組んできました。

これからも頑張ります！

プロジェクト 2

みんなの力を合わせて愛東のフルーツを守ろう！

愛東の特産品を愛する応援隊をつくります

NPO 法人愛のまちエコ倶楽部

●集まった寄付でこんな活動をします！

1 愛東特産フルーツ応援隊をつくります。
2 愛東フルーツ応援隊のスキルアップに取り組みます。

●今年度の取り組み

農家さんを中心に寄付を呼びかけたり、果樹栽培の専門的な知識を学びに研修へ行きました。

これからも頑張ります！

今号の表紙：これまで取材をさせて
いただいた方（一部）を掲載しています。

「にじまち」設置店舗・事業所（敬称略・順不同）

【設置店舗・事業所】

ＡＢＣ食堂
アビスミナミィ
石窯パン café つむぎ
eN
Cafe Crepier Cono
カフェ・ド・ココ
くつろぎ茶「幸」
CO-GAMO CAFE
湖東信用金庫本店
サヤームエラワン
滋賀銀行八日市東支店
重森スポーツ
セリーヌ
外川善種苗店
中野ヴィレッジハウス
二丁目植堂
パンカフェ KOKON ～江近～
ファームキッチン野菜花
ほんなら堂
Mltte
マエダクリーニング金屋店
銘茶ますきちアピア店
MOTOSTAND
八日市まちかど情報館
ル・トン・セラン

【公共施設】

あいとうエコプラザ菜の花館
各地区コミュニティセンター
各地区図書館
東近江市役所
東近江市社会福祉センターハートピア
道の駅あいとうマーガレットステーション
道の駅奥永源寺渓流の里

「にじまち」設置にご協力いただける店舗さま、事業所さま募集中！

「にじまち」は、東近江市の身近な情報をお届けするまちづくりネット東近江が発行する広報誌です。
現在、「にじまち」の設置にご協力いただける店舗さま、事業所さまを随時募集しています。詳しくは、以下の問合せ先までご連絡ください。

問合せ

広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せください。

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

〒527-0023 滋賀県東近江市八日市緑町 4-1
TEL：0748-56-1277　ＩＰ：050-8036-0784
E-mail:info@e-ohminet.com
ＨＰ：http://e-ohminet.com

※まちづくりネット東近江は、東近江市の委託を受けて事業を展開しています。

会員募集中！！

まちづくりネット東近江の会員を募集しています。当団体が主催します、講座の案内や日々の活動を綴った「つれづれ日記」をお送りします。（年会費　個人正会員：2,000 円、個人賛助会員：5,000 円、団体正会員：2,000 円、団体賛助会員：10,000 円）